



木栄会通信

9月28日 木栄会協賛 優良素材特別市について 報告

9月28日(水)に木栄会協賛特別市が開催されました。8月29日予定となっていました。新型コロナウイルス感染症第7波により市の準備に影響が出た為、1カ月の延期となりました。10時より開市となり、協賛市の挨拶を伊東副会長より、昨年のウッドショックより国産材の状況が一変した、またコロナウイルス感染、ロシアによるウクライナ侵攻などの影響により資材高騰となっており木材産業において暗い影を落としている。更に、台風12号の被害も見られる。そのような中、ウッドショックを発端とした国産材利用の気運は高まっている。この様な流れに乗って今回の協賛市を行い、協賛が有り、また、挨拶の中でもあった



9月28日(水)に木栄会協賛特別市が開催されました。8月29日予定となっていました。新型コロナウイルス感染症第7波により市の準備に影響が出た為、1カ月の延期となりました。10時より開市となり、協賛市の挨拶を伊東副会長より、昨年のウッドショックより国産材の状況が一変した、またコロナウイルス感染、ロシアによるウクライナ侵攻などの影響により資材高騰となっており木材産業において暗い影を落としている。更に、台風12号の被害も見られる。そのような中、ウッドショックを発端とした国産材利用の気運は高まっている。この様な流れに乗って今回の協賛市を行い、協賛が有り、また、挨拶の中でもあった



9月中旬の台風12号14号の影響により九州各地の山林にも被害が出ており原木出材量が減少傾向、製品市況も価格面が下げ傾向となる中41社から60名もの来市となり素材1,500M3 製品1,000M3の出品量での開市となりました。

素材入札では木栄会会長賞佐賀県産ヒノキ6m 400Mが高値で落札され、今後の台風の影響での出材不足の懸念からスギ丸太を中心に積極的な応札が見られました。製品入札では市況が大きく下げ傾向の中で当用買、が目立ちKD小割材を中心に前回市より10,000円/㎡3ほどの下げの応札



木栄会会員様からの出品を中心に売れ筋のKD正角、間柱などに対しての応札が良、スギKD柱 3m 105x105に高値135,000円/㎡3 スギKD間柱 3m 300x105に10,000円/㎡3 また、構造用合板 2冊も入札にかけられ入札に賑わいを見せました。

新型コロナウイルス感染症第7波が終息を見せない状況の中での今回の木栄会協賛市に、来市を頂きました会員の皆様には改めてお礼を申し上げます。



なご次回は11月28日に木栄会協賛創立記念市が開催されますので、来市お願致します。木栄会協賛市に対してご意見(ご要望等)がございましたら事務局までご連絡お待ちしております。

10月号 Vol.112

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場木栄会事務局

〒849-1425

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番三〇

TEL 〇九五五-二〇二八三 (代表)

FAX 〇九五五-二八二八五

令和4年 第26回木栄会総会に関して 報告

一昨年に引き続き、今回も書面開催といたしました木栄会第26回総会に關しまして会員の皆様のご協力を待ちまして無事に総会を終える事が出来ました。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、やむなく書面開催となりましたが委任状決議の結果が過半数となりました。今次総会は適正に成立いたしました。承認された議案は次の通りです。

- 第1号議案 令和3年度事業報告
- 第2号議案 令和3年度決算報告
- 第3号議案 令和3年度監査報告
- 第4号議案 令和4年度予算
- 第5号議案 令和4年度事業計画

会員各社の協力により総会を無事に完了することができました。今回頂きましたご意見(ご要望)に対してご期待に沿えるよう運営を行ってまいりますので、引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。



木材動向 I

◎素材

9月の最終原木取扱材積としては、43,736㎡と、先月よりは若干増加しましたが、目標比98%に終わりました。

要因としては、先月に続いて色々考えられますが、やはり相次いで直撃した台風の影響が大きく、

特に大型台風4号による被害のニュースは、やはり市民生活に直結する市街地の被害が多いのですが、我々にとって一番深刻な被害は、林道崩落や山林崩落などであり、現に大分営業所管轄の伐採中の素材生産現場も、数ヶ所は林道崩落などで確認もできない状況であったり、先日まで復旧作業に追われた現場もあり、10月も計画する素材生産数量の目標必達は厳しいのでは?という状況となっております。

さらに、大型台風4号の影響は九州各地でみられ、特に熊本県から鹿児島県の九州南部エリアでは、スギ丸太の材量減が顕著にあり、熊本県内市場のスキ業者の買いが集中し、4中目材が8寸上材が22,000×23,000円/㎡と、ヒノキ丸太と逆転し高値となつてきている状況です。

今回の協議市においても、スギ丸太における業者数や価格にも顕著に表れ、4中目材が16,500円/㎡、最高値17,000円/㎡、尺上材は13,

000円/㎡(後半半)16,000円/㎡(後半半)と、スギに関して是一般材から大径材、長尺材から優良材まで、トータル的に活発な入札で飛ぶように売れました。

一方のヒノキは対照的で、先月の市況を維持するのがやっとの相場観で、不落になる材は殆どなかったものの、スギほどの活気は全くなく、改めて深刻な状況にあることを思い知らされる結果となりました。

このヒノキの厳しい市況は、全国どこでも同じ状況にありますが、熊本県のみ若干強含み感がみられており、詳しい状況は掴めておりませんが、人吉市に新たにヒノキ専門製材工場が増設されることも影響しているのではと考えます。

弊社も10数年継続してきたシステム販売によって、9月までは何とかヒノキらしい相場で価格設定を維持してきましたが、さすがに10月以降は大幅な値下げ要請を各社から受けており、厳しい価格改定となりそうです。

これも皆さん同じ考えだと思いますが、昨年の今頃は想像だにしていなかった、コロナ感染の長期化、アメリカ経済動向、ロシア紛争、世界の異常気象、異常な円安等により、全ての商品の値上がりとなり、家計に直撃してきたことから家を建てることは2の次3の次となってきたことは間違いないと考えます。しかし、これからの真の国産材時代を

迎える為には、ここで諦めたり引き下がってはけませんので、国内外の新たなヒノキ需要先を開拓し、打倒外材を推し進めていきたいと考えますので、会員皆様のご協力を宜しくお願い致します。

◎製品

9月に入りコロナ感染者数も落ち着きを見せ始め、本格的な秋の需要に向けて荷動きが活発になるこの時期に市況は低迷となっております。例年の活発な荷動きは影も形もなく今迄の高水準で推移していた価格がここに来て一気に値下げとなりました。販売店、プレカット工場、市場などそれぞれが単価が高い製材品の在庫を多く抱えており荷動きは極端に悪く、価格を下げての当用買いが目立ちます。

製材工場においては価格が大きく下がると生産調整を行う事も考えられる状況となっております。

この様な製品市況の中、原木は状況が変わりつつあり、原木動向でもあったように台風の影響を受け九州南部を中心として山林の被害が多くみられる事から今後の原木材量が減少する事を見越して積極的に手当てが行われており、スギ丸太は値上げの様相を見せています。10月以降においては原木出材量がどこまで回復するかにより単価面に大きな影響が見られますが、製材品の市況低迷により製品価格は下げが止まる

のかに注目されます。

9月の当市場の相場はヒノキ GR土台 1等上4m 105×105 58,000円/㎡、60,000円/㎡、前月比▼2,000円、ヒノキ KD土台A 4m 105×105 90,000円/㎡、(前月比▼5,000)スギ GR母屋角 1等上43,000円/㎡、KD母屋角特 175,000円/㎡、85,000円/㎡、(前月比▼5,000)スギ GR平角 特 14m 105×150 180(20厚同) 45,000円/㎡、48,000円/㎡、(前月比▼2,000)スギ KD平角 特 14m 105×150 180(120厚同) 75,000円/㎡、(前月比▼5,000)スギ GR小割 30×45、45×45、45×60 特 14m 150,000円/㎡、60,000円/㎡、(前月比横ばい)スギ GR間柱 30×105、45×105 特 14m 152,000円/㎡、63,000円/㎡、(前月比▼3,000)スギ 野地板 2m 12×小幅 30,000円/㎡、33,000円/㎡、(前月比横ばい)スギ KD柱 3m 105×105 A品 95,000円/㎡、(前月比▼5,000)スギ KD間柱 3m 30×105 80,000円/㎡、90,000円/㎡、(前月比▼5,000)スギ AD小割材 75,000円/㎡、(前月比横ばい)スギ KD小割材 75,000円/㎡、85,000円/㎡、(前月比横ばい)となつています。

国産構造用針葉樹巨板は価格ピークを過ぎた事で荷動停滞が見られメーカ在庫が増加傾向で、8月末の在庫量は前月比で1パーセントほど増加となっており、9月既に生産調整を行うメーカーも見られ価格を維持する方針となつていいます。

今後は9月18日の台風4号の影響により九州南部を中心として原木価格が2,000円/m程度値上げを見せられているなかのまま出材が減れば更なる値上げも考えられており、市況が低迷する製材品への価格転嫁は厳しい状況となつていいます。輸入材の高単価の入荷材も9月頃には減少するとの見方も有ったが年内はこの様子が続くという見方が有ります。まだまだ在庫が多く有る事と第4四半期の価格の安い入荷が始まる可能性が高く国産材製材品は非常に厳しい状況が見られます。さらに木材以外の資材は高騰している事から住宅販売価格は上昇しており加えて長期金利が上がる事で住宅購買意欲は低下するとの見られており今後の住宅着工にも影響が懸念されています。

11月は当市場最大の市木栄会協賛創立記念市も控えており厳しい市況となつてきていますが盛大な市を開催する予定ですので会員の皆様のご来市をお待ちしております。



木栄会協賛創立記念市速報!!

11月28日(月)は、木栄会協賛創立62周年記念市が開催されます。昨年創立記念市を8月から11月に變更させて頂いております。台風の影響による原木出材量の減少や、製材品市況の低迷のなかではありますが秋雷並みだった中の資材の手当てに是非一来市ください。

木栄会市売り企画、素材、製品それぞれの出留量予定を、案内致します。

☆優良材	5000 m ³
☆一般材	3,000 m ³
計	3,500 m ³
製留量何量	
☆木栄会会員材	5000 m ³
☆一般材	1,000 m ³
計	1,500 m ³

【木栄会市売企画】
 ☆木栄会会長賞コーナー
 ☆金番銀賞付入札
 ☆会員出何材懸賞付き入札コーナー
 ☆早出賞
 ※集荷数量、企画については変更の可能性もございます。ご理解をお願い致します。市売り企画は随時案内いたします。
 なお、当日は10時より木栄会会長の挨拶が有りますので早目の一来市をお願いいたします。
 会長挨拶終了後、早出賞の配布を行います。会員の皆様のご来市を従業員一同お待ちしております。

木材動向②

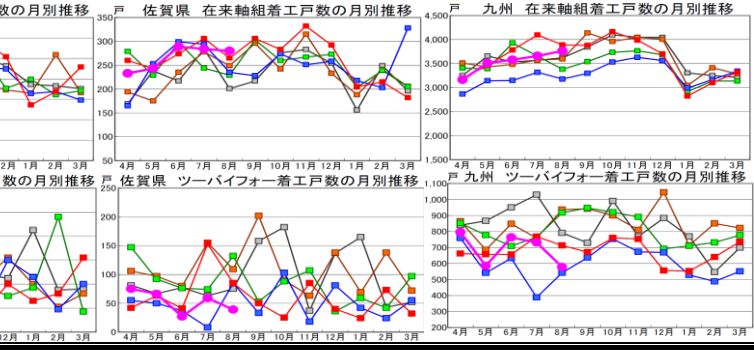
住宅着工統計

2022年9月30日発表
 8月分、出典：株式会社山田事務所
 ● 8月の新設住宅着工は、持家が減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比4.6%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比9.4%の増加となった。

全国利用関係別

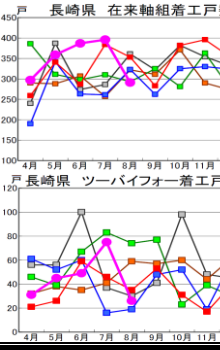
	合計	持家	買家	全分譲	マンション	戸建
戸数	77,712	22,291	31,295	23,172	10,727	12,341
前年同月比	4.6%	-11.2%	8.9%	16.2%	34.6%	4.7%

全国工法別	木造	在来	2×4	木質I/A
戸数	42,923	33,933	8,016	974
前年同月比	-3.7%	-3.0%	-7.5%	2.4%



● 8月の新設住宅着工戸数は、九州地区8,800戸(4.3%増) 佐賀4,500戸(7.3%増)、長崎4,090戸(26.0%減)

◆ 全国、九州地区と佐賀県の在来軸組及び、2×4着工戸数月別推移



Topics

補助事業の公募開始 に關して

全国木材組合連合会より令和4年度「AS構造材実証支援事業」の3次募集が開始されました。公募開始は10月3日より10月31日までです。

10月3日から開始され10月31日までエントリ受付が行われます。この事業は、昨年度より継続的に実施されている事業でございます。今回の3次募集から変更点が増えられ、公募を開始した10月3日以降に発注された木材を対象とすることになりました。しかしながら、公募開始が10月で完了報告が12月9日という若干タイトなスケジュールとなっております。

JAS製材品の発注納品が10月以降で対象部分の建方が12月9日の交付申請締め切りまでに完了してなければならぬこともあり、対象とできる物件は少ないかと思われます。しかしながら、一般住宅向けの補助事業は多くございますが本事業については事業用の建築物を対象としており、いわゆる商店や事務所などの物件に適用ができません。

また、助成金額に關しても構造用製材であれば6,000円/m²でありCITであれば140,000円/m²になるなど助成額が大きく違う特徴もございます。上限額も1,500万円/件と比較的高めに設定されており、

詳細な手続き方法は「AS構造材実証支援事業」(<https://www.jas-kouzouzai.jp/>)もしくは申請物件の所在地にある地域木材団体にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

その他、利点としては利用事例紹介として紹介される場合や年度ごと事例として紹介されるなど広報的な要素もございます。タイトなスケジュールかつ、珍しい補助事業ですが、もし適した物件などあればぜひチャレンジされてはいかがでしょうか。

非住宅向けの補助金と合わせて、トラック輸送費に対する補助金(原木製品の第二回募集も開始されます)も月上旬から、公募が始まりますのでこの事業にも注目されておくことをお勧めいたします。目安として最大1,700円もしくは輸送費の半分というくらい大きな助成事業です。

また、前回同様であれば最大3か月間分の輸送費が対象となりますので適用範囲の広さも魅力になります。実際に申請する際の要件もわかりやすいのでお勧めの事業でございます。

ここに挙げる補助事業以外にも内装材に対する補助事業等が10月より一気に公募開始しております。会員の皆様もぜひ、全国木材組合連合会のHP (<https://www.zemokujp/>)をぜひ確認してくださいませ。

編集後記

◎ 昨晚、アメリカのストのニュースが流れていた。物価高でなんでも値上がりしているのに給料だけはそのまま、賃上げ交渉のためのストだ、と納得のいく交渉ができるまでストが続けると言っていた。それは、ウエアーハウザー社のストの様だった。ウエアーハウザー社といえば、この業界の方は、ご存じの方が多からう。アメリカの木材の総合商社みたいな、とにかく大きい会社というイメージだ。正確を期するため、ホームページから抜粋しますと、「森林の育成と伐採、原木、建築用資材の森林製品の製造、流通及び販売が主たる業務です。本社は米国のシントンシアトルにあります。」だそうです。ニュース映像の中に、倉庫に、出荷されないままの木材がぎっしり積みあげられていました。こういうのも日本に影響が出てくるのだろうか？と思ながらテレビを見ました。円安ドル高でアメリカは好景気なのかと思いきや、いったい誰が儲かっているのだろうか？昨日の日経新聞には、米住吉ロイヤル金粒の上昇の影響でカナダ産材が、3割安だとしていた。針葉樹林製材材がカナダ産の輸入量は全体の2割を占めるらしい。値下がりが続けば、国産材を使うというせつかかの動きが鈍ってしまうのではないだろうか？天候にも世界経済にも直に影響を受けるのだなあとと思った。

11月28日(月)

木栄会協賛

創立62周年記念市



10月の市のお知らせ

10月28日(金) 秋祭り特別市